

まいと〜く FAX Server 7 から まいと〜く Center Hybrid への API 移行手順について

1. まいと〜く Center Hybrid 用 ActiveX コントロールについて

まいと〜く FAX Server 7 で API 連携キットを利用されている方が、その環境をまいと〜く Center Hybrid へ引き継ぐことができるように、「まいと〜く Center Hybrid 用 ActiveX コントロール」というプログラムを用意しました。

まいと〜く FAX Server 7 からの移行手順について説明します。

※ここでは Visual Studio 2015(C#) を開発環境とした例を示します。

■ 制限事項

- まいと〜く FAX Server 7 のプリンタードライバーで作成されるイメージファイルやエクスポートされるファイルは、まいと〜く FAX Server 7 独自の形式 (*.MFS) になります。まいと〜く Center Hybrid で使用するには "someimage.mcf" を "someimage.tif" に変換するなどの処理が必要です。
- まいと〜く FAX Server 7 の送付状エディタで作成した送付状は、まいと〜く FAX Server 独自の形式 (*.CVP) になります。API 機能を利用して送付状を添付する場合は、まいと〜く Center Hybrid の送付状テンプレートを利用してください。
- [CoverPage] メソッドに CVP ファイルを与えた場合は、何も処理を行わず即時に成功を返します。
- FAX 送信時の F コード、承認ユーザー（誤送信防止オプション機能）は未対応です。
- カラー FAX に関する機能は未対応です。
- まいと〜く Center Hybrid は、FAX クライアントの各種フォルダの取得、クライアントの操作には未対応です。
- ログ管理メソッドなどで使用されるログ ID は、まいと〜く Center Hybrid ではジョブ ID に相当します。
- [SendFaxHeader] メソッドに、まいと〜く FAX Server 7 のマクロ文字は使用できません。まいと〜く Center Hybrid のマクロ文字を使用してください。
- [DoExport] のファイル形式 (PCX) は未対応です。

■ 使用例（変換が必要な場合）

```
if(filename == "someimage.mfs"){  
...  
}
```

2. 対応表

対応状況を下表に示します。記号の意味は次の通りです。

- ：対応しているもの
- △：対応しているが内部処理の変更や使用上の制限があるもの
- ×：プログラムの修正が必要なもの

コマンド名	種類	機能	対応状況
AboutBox	メソッド	ActiveX コントロールの情報を表示 ^{**1}	△
AboutBox (エクスポート コントロール)	メソッド	ActiveX コントロールの情報を表示 ^{**1}	△
AppExit	メソッド	ActiveX コントロールを終了 ^{**1}	△
CancelSend	メソッド	送信ログデータの送信をキャンセル	○
ClearSendFax	メソッド	設定した送信先情報を消去	○
ClearSendTo	メソッド	設定した送信先情報を消去	○
Connect	メソッド	ActiveX コントロールを開始	○
ControlCallerID	イベント	発信者番号を取得	○
ControlPrintStatus	イベント	印刷の状態を取得	○
ControlReceiveFax	イベント	受信 FAX の情報を取得	○
CoverPage	メソッド	添付する送付状を設定	○
CoverPageMemo	メソッド	送付メモを設定	○
DeleteReceiveLog	メソッド	受信ログデータを削除	○
DeleteSendLog	メソッド	送信ログデータを削除	○
Disconnect	メソッド	ActiveX コントロールを終了	○
DoExport	メソッド	イメージファイルをエクスポート	○

コマンド名	種類	機能	対応状況
DoExportDialog	メソッド	イメージファイルをエクスポート	○
FaxFile	メソッド	添付ファイルを設定 ^{*2}	△
GetAppFolder	メソッド	FAX のフォルダを取得 ^{*3}	△
GetColorPrinterName	メソッド	カラー用プリンタ ドライバのデバイス名を取得 ^{*1, 4}	×
GetColorPrinterPort	メソッド	カラー用プリンタドライバのポート名を取得 ^{*1, 4}	×
GetCoverFolder	メソッド	送付状が保存されているフォルダを取得 ^{*3}	△
GetErrorCode	メソッド	指定した受付番号に対応したデータの、エラーコードを取得	○
GetExportFile	メソッド	エクスポートされたファイル名を取得	○
GetGroupImageFolder	メソッド	グループログフォルダ内のイメージファイルが保存されているフォルダを取得 ^{*1, 3}	△
GetGroupSaveFolder	メソッド	グループログフォルダ内の保存ファイルが保存されているフォルダを取得 ^{*1, 3}	△
GetImageFolder	メソッド	受送信したイメージファイルが保存されているフォルダを取得 ^{*3}	△
GetLastError	メソッド	エラー番号を取得	○
GetLastError(エクスポートコントロール)	メソッド	エラー番号を取得	○
GetPrinterName	メソッド	モノクロ用プリンタドライバのデバイス名を取得	○
GetPrinterPort	メソッド	モノクロ用プリンタドライバのポート名を取得	○
GetReceiptNumber	メソッド	受付番号を取得	○
GetReceiveFax	メソッド	受信 FAX の情報を取得	○
GetReceiveLog	メソッド	ログ ID に対応した受信ログデータを取得	○
GetResult	メソッド	送信結果を取得	○
GetSaveFolder	メソッド	添付するイメージファイルが保存されているフォルダを取得	○
GetSendFaxStatus	メソッド	送信状態を取得	○
GetSendLog	メソッド	ログ ID に対応した送信ログデータを取得	○
GetSendLogID	メソッド	受付番号に対応したログ ID を取得	○
GetString	メソッド	カンマ区切り文字列から任意のデータを取得	○

コマンド名	種類	機能	対応状況
InetFaxAttachment	メソッド	インターネット FAX で送信される添付ファイル名と添付ファイル形式を設定	○
InetFaxMessage	メソッド	インターネット FAX で送信するメールの件名と本文を設定	○
InetFaxMIMEToField	メソッド	インターネット FAX で送信する SMTP (MIME) の "To フィールド" を設定	○
InetFaxPriority	メソッド	インターネット FAX で送信するメールの優先度を設定	○
IsPrinting	メソッド	印刷の状態を取得	○
Operation	メソッド	手動操作を制御 ^{*1}	△
PrintTo	メソッド	プリンタドライバで印刷する送信原稿として設定	○
Priority	メソッド	FAX の優先度を設定	○
Resolution	メソッド	印刷時の解像度を設定	○
SaveAs	メソッド	送信せずに保存	○
SaveDebugTrace	メソッド	ログ情報をファイルへ出力	○
SendAbort	メソッド	送信中や待機中のログを中断	○
SendComPort	メソッド	送信に使用する通信ポートを変更	○
SendDate	メソッド	送信日付を設定	○
SendDialCount	メソッド	FAX 送信タブのダイヤル回数を設定 ^{*1}	△
SendFaxExecute	メソッド	送信を開始	○
SendFaxHeader	メソッド	送信時の FAX ヘッダを設定	○
SendFaxResult	イベント	送信結果を取得	○
SendFaxStatus	イベント	送信状態を取得	○
SendFrom	メソッド	差出人情報を設定	○
SendRedialTime	メソッド	FAX 送信タブのリダイヤル間隔を設定	△
SendSubject	メソッド	送信するログのジョブ名を新しく設定	○
SendTime	メソッド	送信時刻を設定	○
SendTo	メソッド	送信先を設定	○
SendToAddressBook	メソッド	アドレス帳から宛先を設定	○
SendToV3	メソッド	送信先を設定	○

コマンド名	種類	機能	対応状況
SendToV4	メソッド	送信先を設定	○
SendToV7	メソッド	送信先を設定	○
SetAddress	メソッド	まいと〜く FAX 本体のアドレス帳にアドレスを追加 / 変更	○

※ 1 まいと〜く FAX Server との互換性のために残されています。実際には機能しません。

※ 2 PrintTo と同様の処理を行います。

※ 3 設定ファイル「api_option.ini」の設定値を返します。

※ 4 必ず空文字列を返します。

3. まいと〜く FAX Server 7 からの移行の流れ

まいと〜く Center Hybrid API 連携キットをインストール



まいと〜く FAX Server 7 用 ActiveX コントロールを削除

アプリケーションのプロジェクトに登録されている、まいと〜く FAX Server 7 用 ActiveX コントロールを削除します。



まいと〜く Center Hybrid 用 ActiveX コントロールをツールボックスに登録



まいと〜く Center Hybrid 用 ActiveX コントロールをアプリケーションに登録



ビルドを実行



設定ファイルを取得



完了

操作

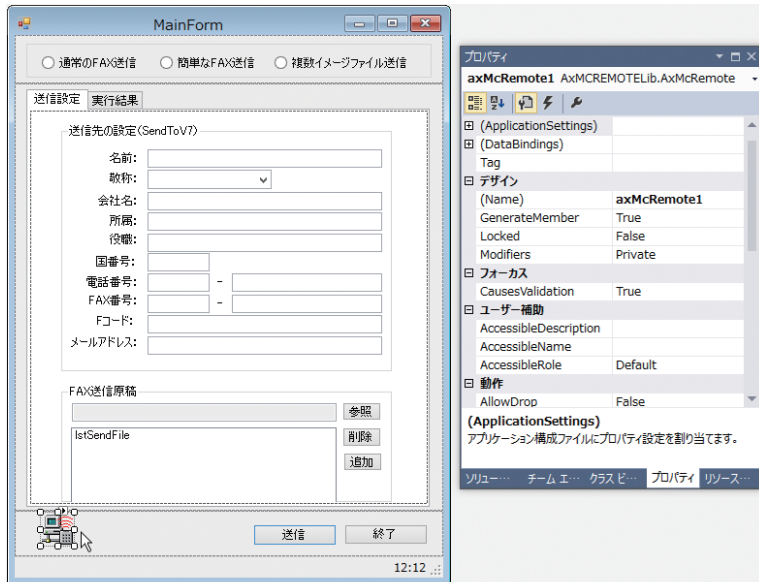
- 1 まいと〜く Center Hybrid API 連携キットをインストールします。

▶▶ インストールについては、「[導入ガイド](#)」を参照してください。

メモ

まいと〜く Center Hybrid API 連携キットのインストーラーを使用している場合、リソースは「{インストールフォルダ}\Api\McRemote」に保存されます。
システムへの登録も自動的に行われるため、**操作 2**～**操作 4**の作業は不要です。

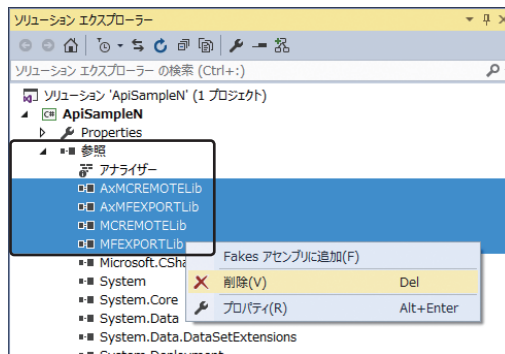
- 2 まいと〜く Center Hybrid 用 ActiveX コントロールとそれに関連する DLL ファイルを任意の同一フォルダに保存します。
- 3 regsvr32 コマンドを使用して、以下のまいと〜く Center Hybrid 用 ActiveX コントロールをシステムに登録します。
 - McRemote.ocx
 - MfExport.ocx
- 4 regasm コマンドを使用して、以下の COM コンポーネントをシステムに登録します。
 - McPrinterController.dll
- 5 移行対象のプロジェクトのバックアップを作成します。
- 6 移行対象のプロジェクトを開発環境で開きます。
以下のまいと〜く FAX Server 7 用 ActiveX コントロールをフォームから削除します。
 - Mytalk FAX Client Remote ActiveX Control
 - Mytalk FAX Export ActiveX Control



7 まいと〜く FAX Server 7用の参照情報を削除します。

[ソリューションエクスプローラー] の [参照] カテゴリから、以下の情報を削除します。

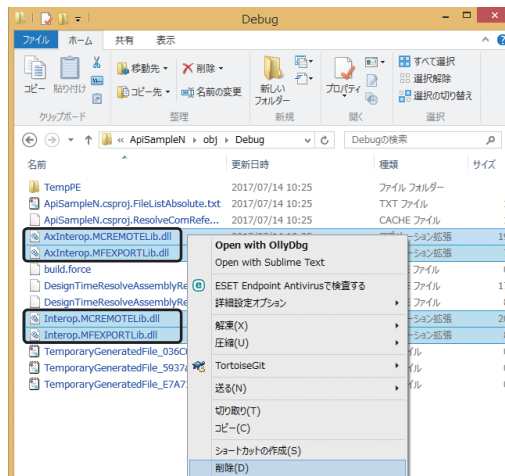
- AxMCREMOTELib
- AxMFEXPORTLib
- MCREMOTELib
- MFEXPORTLib



8 変更を保存し、Visual Studio を終了します。

9 エクスプローラでプロジェクトのフォルダを開き、以下のファイルを削除します。

- AxInterop.McRemoteLib.dll
- AxInterop.MFExportLib.dll
- Interop.MCREMOTELib.dll
- Interop.MFEXPORTLib.dll

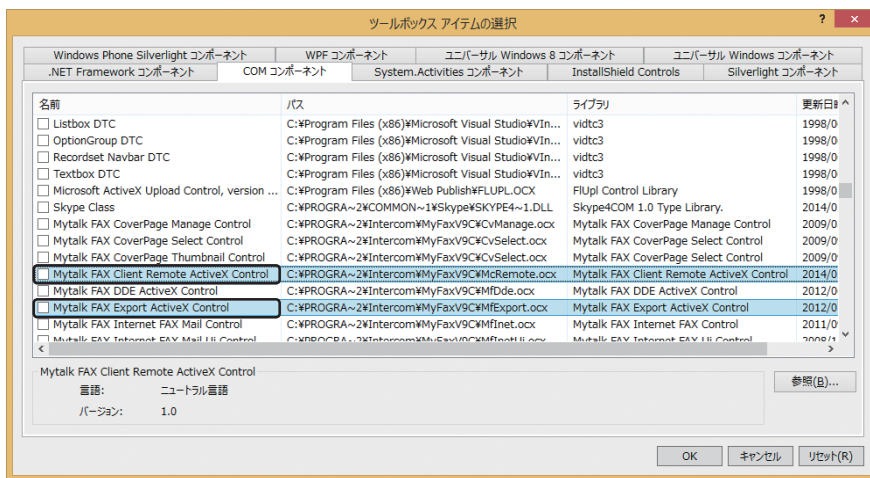


10 Visual Studio を起動し、プロジェクトを開きます。

11 [メニュー] - [ツール] - [ツールボックス アイテムの選択] の順にクリックします。[ツールボックス アイテムの選択] ダイアログが表示されます。

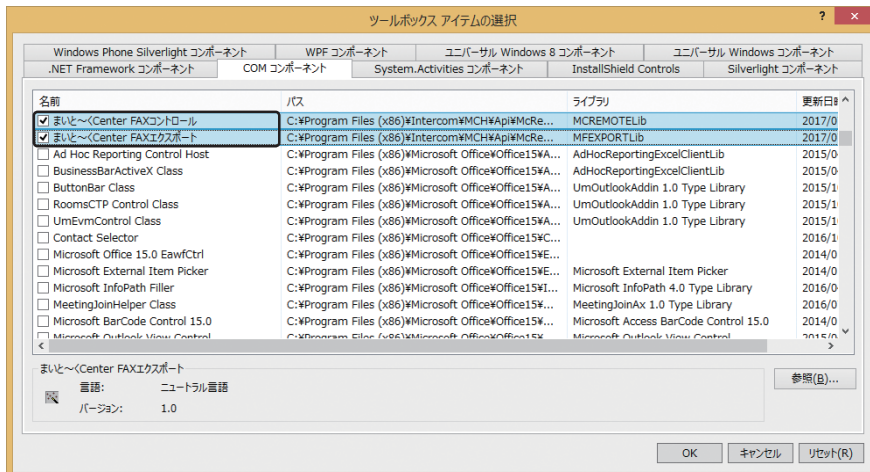
12 [COM コンポーネント] タグから、以下のまいと〜く FAX Server 7用 ActiveX コントロールのチェックをはずします。

- Mytalk FAX Client Remote ActiveX Control
- Mytalk FAX Export ActiveX Control

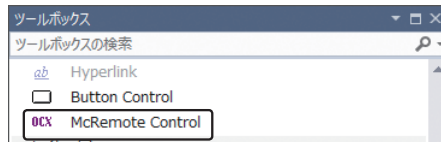


13 [COM コンポーネント] タグから、以下のまいと〜く Center Hybrid 用 ActiveX コントロールにチェックを付けて、「OK」ボタンをクリックします。

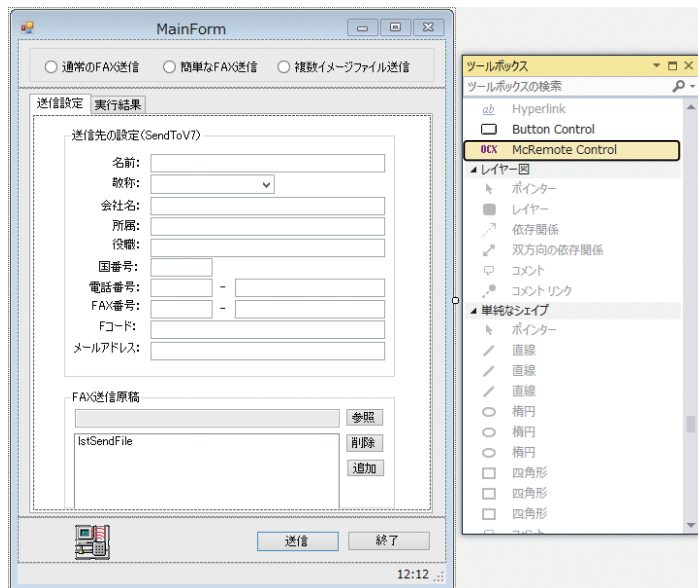
- まいと〜く Center FAX コントロール
- まいと〜く Center FAX エクスポート



- 14 選択したまいと〜 Center Hybrid 用 ActiveX コントロールが、ツールボックスに表示されます。
「McRemote Control」をクリックします。



- 15 次のフォームが表示されます。
「McRemote Control」をクリックし、ActiveX コントロールを貼り付けます。



メモ

ActiveX コントロールの貼り換えをする際に、Visual Studio が整合性のとれなくなったコードを削除する場合があります。移行対象のプロジェクトのバックアップと比較し、必要に応じて手動で復元を行ってください。

- 16 ビルドを実行して、アプリケーションを更新します。
- 17 関連ファイルのコピーと設定ファイルの作成を行います。
- 18 以上で移行手順は完了です。